

国立病院機構

長良医療センター

呼吸器、小児、重症心身障害医療に強く
キャリア形成の場としても優れた病院

長良医療センター 院長 松久 卓

3本柱の専門医療に加え 地域ニーズに応える医療も展開

当院は病床数401床（一般203床・重症心身障がい児（者）180床・結核18床）を有し、セーフティネット医療である筋ジストロフィーなどの「重症心身障がい児（者）医療」・結核・肺癌をはじめとする「呼吸器疾患」、さらに「小児医療」を3本柱として専門性の高い医療を提供しています。また、エイズ治療拠点病院としてエイズに関する総合的かつ高度な医療を提供していることも特徴です。「重症心身障がい児（者）医療」に対する医療体制の規模は大きく、筋ジストロフィーなど神經難病の診療にも積極的に対応しています。「呼吸器疾患」においては、京都大学からの派遣医師2名による呼吸器外科専門医の複数人体制により、肺がんに対する胸腔鏡下手術など高度な専門的手術も実施しています。地域の医療機関からの信頼は厚く、紹介患者さんは県内遠方からも多く訪れています。

さらに当院では、高齢化の進展による認知症やがん患者の増加といった地域の医療ニーズに応えるべく新たな取り組みも始めています。その1つの成果として、2023年1月にがんの終末期患者を対象とした「緩和ケア病棟（やすらぎ病棟）」を開設。多職種チームによる充実した緩和ケア医療を提供しており、がんだけではなく幅広い診療科で緩和ケアを提供できる体制を目指しています。

満足度の高い研修を提供 チームワークの強さも魅力

当院は初期臨床研修基幹病院で

あり、さらに4つの診療科（呼吸器内科・呼吸器外科・小児科・小児外科）が、県内外の内科・外科・小児科の専門研修プログラムの基幹病院の連携施設として専門医の育成に関わっています。3本柱である、「呼吸器疾患」「小児医療」「重症心身障がい児（者）医療」における専門的なスキルを学ぶことができ、さらに「臨床研究部」が設置されており、活発な臨床研究活動や学会発表が行われている環境のなか、アカデミックな力を習得できることも特徴です。

初期研修医は一学年3名と少人数制であり、一人ひとりに目が行き届く手厚いバックアップ体制のなか、安心して症例経験を積んでいただくことができます。

当院にはない診療科の研修は、朝日大学病院、岐阜病院、名古屋医療センター、岐阜市民病院、岐阜ハートセンターにて研修を行うなど、院外の医療も経験することができます。さらに小児科には他病院から研修に来ている医師も多くいるなど、院外医師との交流によって幅広い人脈形成ができるこことも魅力でしょう。

また、当院は中規模病院ということもあり、職員全員の“顔が見える”働きやすい病院です。医師もコミュニケーション力も倫理観が高く、そして全員が使命感をもって働いておりチームワークの強さも特徴です。

そうした力が遺憾なく発揮されたのがCOVID-19への対応です。当院ではクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の感染患者の受け入れから始まり、現在まで1480名も

の県内最多の感染患者を受け入れ、デルタ株流行時は1日最高48名の入院患者に対応しました。臨床力だけではなく、チーム医療の実践を通してマネジメント力を学べることも特徴であり、初期研修・専門研修共に質の高い充実した研修を提供できる病院であると自負しています。

若手医師へのメッセージ

治療の答えは教科書のなかにあるのではなく、患者さんのなかにあります。患者さんとのコミュニケーションを大切に、患者さんが置かれた状況や、苦しみ、痛みを理解し、一人ひとりに最適な医療を提供できる医師になってほしいと思います。

当院は長良川の清流と豊かな緑に恵まれた環境にあり、岐阜城や金華山など岐阜の美しい町並みが一望できる風光明媚な場所にあります。勉強やキャリアアップにも最適な落ち着いた周辺環境も魅力でしょう。

当院では一人ひとりの目指すキャリアを病院全体でしっかりとバックアップしていきます。興味のある方、ぜひ一緒に働きませんか。



PROFILE

出身地：岐阜県
出身大学：岡山大学(1985年卒)
宝物：職員たち
座右の銘：義を明らかにし利を計らず



国立病院機構 長良医療センター

住所 〒 502-8558
岐阜県岐阜市長良 1300-7
WEB <https://nagara.hosp.go.jp>

病床数 401 床 診療科数 20 科

【診療科目】

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、小児科、神経小児科、外科、産婦人科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、アレルギー科、精神科



長良医療センターのある街



岐阜市は岐阜県の中南部に位置し、岐阜県の県庁所在地として、また岐阜県内で最も人口が多い都市であり、中核市に指定されている。玄関口であるJR岐阜駅周辺に並ぶ高層ビルと昭和の面影を残しながら新たな活気がみなぎる柳ヶ瀬商店街、1300年以上の歴史を持つ鶴飼が行われる清流長良川、岐阜城を冠する自然豊かな金華山など、街と自然がバランスよく共存する。江戸時代には商工業の中心地として栄え、旧加納町は中山道の宿場町としても知られている。斎藤道三公・織田信長公・明智光秀公をはじめとする戦国武将ゆかりの街としても知られている。